



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月6日

上場会社名 京阪ホールディングス株式会社
コード番号 9045 URL <https://www.keihan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平川 良浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理室 経理部長 (氏名) 城野 教雄 TEL 06-6944-2527
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	225,741	△3.5	36,250	△0.8	35,111	△2.2	25,563	2.7
2025年3月期第3四半期	233,997	13.9	36,561	30.2	35,894	30.3	24,897	15.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 29,513百万円 (11.2%) 2025年3月期第3四半期 26,534百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	253.33	253.28
2025年3月期第3四半期	233.91	233.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	894,610	337,589	36.8
2025年3月期	859,860	314,508	35.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 329,332百万円 2025年3月期 307,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	97.00	97.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,400	3.8	46,200	9.8	43,900	7.3	32,600	15.3	323.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	106,816,403株	2025年3月期	113,182,703株
2026年3月期3Q	5,914,920株	2025年3月期	11,573,128株
2026年3月期3Q	100,910,905株	2025年3月期3Q	106,439,295株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

「2026年3月期第3四半期 決算補足資料」は本日、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間につきましては、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動を行って業績の向上に努めました結果、営業収益は225,741百万円（前年同期比8,256百万円、3.5%減）、営業利益は36,250百万円（前年同期比310百万円、0.8%減）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は35,111百万円（前年同期比782百万円、2.2%減）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は25,563百万円（前年同期比666百万円、2.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①運輸業

鉄道事業におきましては、京阪電気鉄道株式会社において運賃改定を実施したことに加え、大阪・関西万博の開催効果などにより、増収となりました。

バス事業におきましては、大阪・関西万博の来場者輸送バスの運行などにより、増収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は73,091百万円（前年同期比4,039百万円、5.8%増）となり、営業利益は12,278百万円（前年同期比606百万円、5.2%増）となりました。

②不動産業

不動産販売業におきましては、マンションで「ファインレジデンス武蔵新城」などを販売しましたが、前年同期に販売した「ザ・ファインタワー大阪肥後橋」などの反動により、減収となりました。

不動産賃貸業におきましては、前年度に開業した「ステーションヒル枚方」の寄与に加え、今年度においても「YODOYABASHI Station One（淀屋橋ステーションワン）」を開業したことなどにより、増収となりました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は83,802百万円（前年同期比18,266百万円、17.9%減）となり、営業利益は14,362百万円（前年同期比3,679百万円、20.4%減）となりました。

③流通業

ショッピングモールの経営におきましては、2024年9月に開業した「枚方モール」の寄与などにより、増収となりました。

ストア業におきましても、同モール内に新店舗「THE STORE 枚方モール店」の寄与などにより、増収となりました。

百貨店業におきましては、同モール内で運営する店舗の寄与がありましたが、前年度のインバウンド売上好調の反動などにより、減収となりました。

これらの結果、流通業全体の営業収益は43,222百万円（前年同期比769百万円、1.8%増）となりましたが、営業利益は2,213百万円（前年同期比45百万円、2.0%減）となりました。

④レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、大阪・関西万博の開催効果や旺盛なインバウンド需要の取り込みなどにより、増収となりました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は35,235百万円（前年同期比4,586百万円、15.0%増）となり、営業利益は7,253百万円（前年同期比2,458百万円、51.3%増）となりました。

⑤その他の事業

その他の事業におきましては、提携クレジットカード事業における会員獲得が好調に進捗したことに加え、インバウンド需要の取り込みによる「GOOD NATURE STATION」の好調などにより、営業収益は4,420百万円（前年同期比671百万円、17.9%増）、営業利益は297百万円（前年同期は22百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したものの、有形固定資産や販売土地及び建物が増加したことなどにより、前連結会計年度末から34,750百万円(4.0%)増加し、894,610百万円となりました。

負債につきましては、工事代金などに係る未払金が減少したものの、有利子負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末から11,669百万円(2.1%)増加し、557,020百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当や自己株式の取得があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末から23,080百万円(7.3%)増加し、337,589百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表数値(2025年11月7日)から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,836	16,785
受取手形、売掛金及び契約資産	35,233	26,622
有価証券	1,964	522
販売土地及び建物	161,201	171,273
商品	1,898	2,444
その他	21,431	30,037
貸倒引当金	△313	△170
流動資産合計	235,252	247,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	237,700	251,799
機械装置及び運搬具（純額）	21,093	22,509
土地	236,647	244,560
リース資産（純額）	10,638	10,547
建設仮勘定	27,590	21,523
その他（純額）	4,656	4,431
有形固定資産合計	538,325	555,371
無形固定資産	8,549	7,933
投資その他の資産		
投資有価証券	56,000	63,660
長期貸付金	106	69
繰延税金資産	1,959	1,763
退職給付に係る資産	5,183	5,129
その他	14,589	13,276
貸倒引当金	△105	△108
投資その他の資産合計	77,732	83,791
固定資産合計	624,607	647,096
資産合計	859,860	894,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,064	9,318
短期借入金	62,434	62,614
短期社債	9,996	7,994
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払金	34,115	24,110
未払法人税等	8,439	2,840
前受金	16,973	24,260
賞与引当金	3,097	1,903
その他	17,724	17,156
流動負債合計	182,845	160,200
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	188,769	222,383
長期未払金	103	116
リース債務	10,336	10,051
繰延税金負債	4,463	6,529
再評価に係る繰延税金負債	30,911	30,907
役員退職慰労引当金	62	50
退職給付に係る負債	11,652	11,714
その他	26,205	25,068
固定負債合計	362,506	396,820
負債合計	545,351	557,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,772	12,842
利益剰余金	213,924	229,878
自己株式	△39,038	△19,915
株主資本合計	255,125	274,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,854	14,036
土地再評価差額金	35,516	35,564
為替換算調整勘定	91	39
退職給付に係る調整累計額	5,642	5,421
その他の包括利益累計額合計	52,106	55,060
新株予約権	101	72
非支配株主持分	7,174	8,184
純資産合計	314,508	337,589
負債純資産合計	859,860	894,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	233,997	225,741
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	161,374	151,777
販売費及び一般管理費	36,062	37,713
営業費合計	197,436	189,491
営業利益	36,561	36,250
営業外収益		
受取利息	21	26
受取配当金	567	1,017
有価証券償還益	—	502
持分法による投資利益	137	26
雑収入	781	583
営業外収益合計	1,508	2,156
営業外費用		
支払利息	1,571	2,569
雑支出	603	726
営業外費用合計	2,175	3,295
経常利益	35,894	35,111
特別利益		
固定資産売却益	3	666
補助金	580	523
工事負担金等受入額	115	73
投資有価証券売却益	—	2
受取補償金	255	—
その他	—	5
特別利益合計	955	1,271
特別損失		
固定資産除却損	621	167
固定資産圧縮損	157	83
投資有価証券評価損	10	—
その他	—	1
特別損失合計	789	252
税金等調整前四半期純利益	36,059	36,130
法人税、住民税及び事業税	9,417	8,695
法人税等調整額	913	867
法人税等合計	10,331	9,563
四半期純利益	25,728	26,566
非支配株主に帰属する四半期純利益	830	1,002
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,897	25,563

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	25,728	26,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,219	3,217
土地再評価差額金	—	4
退職給付に係る調整額	△348	△221
持分法適用会社に対する持分相当額	△65	△52
その他の包括利益合計	806	2,947
四半期包括利益	26,534	29,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,701	28,475
非支配株主に係る四半期包括利益	832	1,038

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更に関する注記)

退職給付に係る会計処理において、数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理年数は、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として11年）で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を主として10年に変更しております。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益								
外部顧客への営業収益	67,586	90,919	41,895	30,257	3,335	233,994	3	233,997
セグメント間の 内部営業収益又は振替高	1,465	11,149	557	391	412	13,977	△13,977	—
計	69,052	102,068	42,452	30,649	3,748	247,971	△13,973	233,997
セグメント利益又は損失(△)	11,672	18,042	2,259	4,795	△22	36,746	△185	36,561

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない当社の損益であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益								
外部顧客への営業収益	71,441	72,653	42,551	34,839	4,142	225,628	113	225,741
セグメント間の 内部営業収益又は振替高	1,650	11,149	670	396	277	14,144	△14,144	—
計	73,091	83,802	43,222	35,235	4,420	239,772	△14,031	225,741
セグメント利益	12,278	14,362	2,213	7,253	297	36,406	△155	36,250

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない当社の損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年11月8日開催の取締役会決議に基づき、2025年4月1日から2025年5月19日までの期間において、自己株式732,800株の取得を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が2,395百万円増加しております。

また、2025年6月18日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月30日付で自己株式6,366,300株の消却を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が15,939百万円、利益剰余金が5,495百万円、自己株式が21,435百万円、それぞれ減少しております。

これらの結果等により、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は12,842百万円、利益剰余金は229,878百万円、自己株式は19,915百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	16,284百万円	17,836百万円